

財政状態/キャッシュ・フロー/配当金

■ 貸借対照表 (2013年9月30日現在) (単位:億円)

流動資産 2,730 (2013年3月末 2,668)	流動負債 1,041 (2013年3月末 982)
固定資産 3,163 (2013年3月末 3,080)	固定負債 350 (2013年3月末 530)
	純資産 4,502 (2013年3月末 4,236)

	2013年9月末	2013年3月末
総資産	5,893	5,749
純資産	4,502	4,236

流動資産は、有価証券の増加などにより、2013年3月末と比べて62億円増加しました。固定資産は、株式市況の影響による投資有価証券の増加などにより、同83億円増加しました。

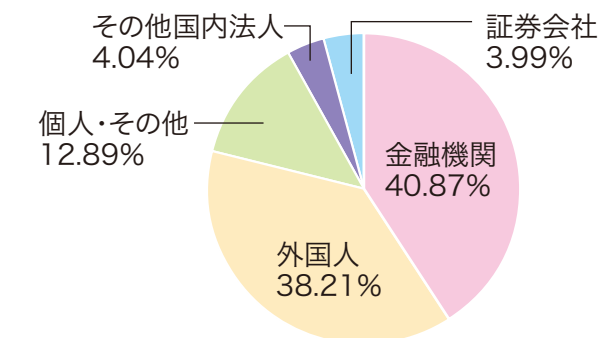
流動負債は、1年内返済予定の長期借入金が70億円の減少、一方で固定負債より1年内償還予定の社債へ200億円の振替などがあり、同59億円増加しました。固定負債は、社債の流動負債への振替などにより、同180億円減少しました。

純資産は、純利益の計上や、為替相場の変動による影響などにより、同265億円増加しました。

株式の状況

(2013年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 **1,000,000,000株**
- 発行済株式の総数 **351,136,165株**
- 株主数 **35,340名**
- 所有者別株式分布

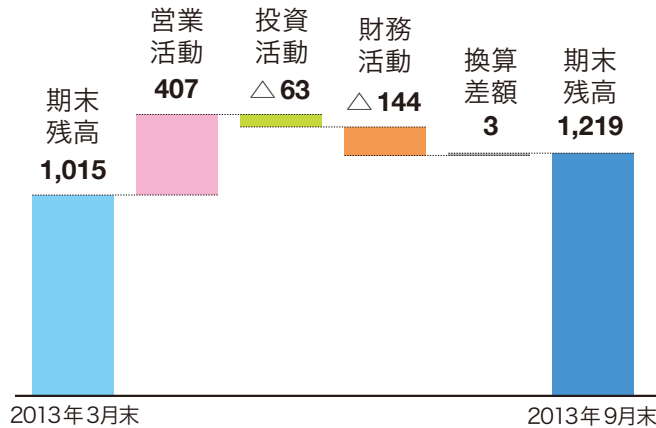


(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を控除した334,896,593株に対する割合として算出しております。



シオノギ製薬
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
http://www.shionogi.co.jp/

■ キャッシュ・フロー (単位:億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、純利益の計上や、法人税等の還付などにより407億円の収入でした。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得などにより63億円の支出でした。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、配当金の支払などにより、144億円の支出となりました。

■ 1株当たり配当金

	中 間	期 末	年 間
2012年度	20円	22円	42円
2013年度	22円	22円(予定)	44円(予定)

株主メモ

- ◇ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日
中間配当金:9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ◇ 単元株式数 100株
- ◇ 公告掲載方法 電子公告
当社インターネットホームページ (<http://www.shionogi.co.jp/>) に掲載しています。
- ◇ 上場証券取引所 東京
- ◇ 証券コード 4507
- ◇ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇ 株主名簿管理人事務取扱場所 (大阪府中央区北浜4丁目5番33号) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) 0120-782-031
(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ◇ 上場証券取引所 東京
- ◇ 証券コード 4507
- ◇ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇ 株主名簿管理人事務取扱場所 (大阪府中央区北浜4丁目5番33号) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) 0120-782-031
(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ◇ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇ 株主名簿管理人事務取扱場所 (大阪府中央区北浜4丁目5番33号) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) 0120-782-031
(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

証券会社等の振替口座で保有されている株式に関する手続	株主様が口座を開設されている証券会社等
特別口座に登録された株式に関する手続	当社が特別口座を開設している三井住友信託銀行(ご照会は上記の電話照会先にお問い合わせください。)

当社の中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきましては、昨年まで株主の皆さまに「中間配当に関するお知らせ」と題した郵便はがきをお送りすることにより行ってまいりましたが、本年より同はがきの郵送を廃止させていただくことにいたしました。今後は、同はがきに替えて当社ホームページ (<http://www.shionogi.co.jp/>) への掲載にてお知らせいたしますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

Shionogi Business Report

2013年度 第149期 上期 2013年4月～2013年9月

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社の2013年度上期の事業概況のご報告にあたりまして、株主の皆さまから賜りましたご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。当社グループは2013年度を「グローバル元年」と位置づけ、創業135年の伝統と歴史を礎に、今後の発展に尽力してまいります。

2013年度はシオノギの「グローバル元年」

当社グループは、研究開発型のグローバル製薬企業として単独で成長を続けるために、欧米亜における開発・販売拠点を整え、いよいよ成長軌道に乗るステージを迎えました。2013年度を「グローバル元年」と位置づけ、全従業員が一体となり、革新的な新薬をグローバルに展開することで、基本方針である「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」ことを、グローバルに具現化してまいります。

グローバルでの飛躍に向けて

本年6月、世界最大の医薬品市場である米国において、当社グループ初のグローバル新薬である閉経後膣萎縮症治療薬「オスフィーナ」を発売しました。本薬の製品価値を早期に最大化することが、グループ全体における最優先の課題です。また昨年、英国ViiV社とHIVインテグラーゼ阻害薬に関する新たな枠組みを締結し、販売に応じたロイヤリティや、ViiV社の10%株主としての配当金を受け取る権利を取得しました。本年8月、米国FDAから承認を取得し、ViiV社より「デビケイ」という商品名で米国での販売が開始されております。さらに、これら2製品に続く臨床後期パイプラインの開発も順調に進めています。

シオノギの基本方針 (1957年制定)

- シオノギの目的**
シオノギは、常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する。
- そのために**
益々よい薬を創り出さねばならない。
益々よい薬を造らねばならない。
益々よい薬を益々多くの人々に知らせ、使って貰わねばならない。
創り、造り、売ることを益々経済的にやりとげねばならない。



代表取締役会長

塩野元三

代表取締役社長

手代木 功

これらの取り組みにより、2016～2017年に到来するコレステロールクリフ(「コレステロール」の特許満了に伴うロイヤリティ収入の減少)を乗り越え、再成長していく道筋が整ってきました。

今後も、マザーマーケットである国内市場で安定的な収益を確保するとともに、市場の大きい米国や欧州、および成長の著しい中国市場をはじめとする海外市場において、自社製品を継続的に上市することにより、グローバルな成長を目指してまいります。

- そのために**
シオノギの人々のあらゆる技術が日々休むことなく向上せねばならない。
シオノギの人々が、人間として日々休むことなく向上しなければならない。
- その結果**
シオノギの人々は日々の仕事と生活に益々生甲斐を感じる。
シオノギの人々の生活の仕方が益々改善せられる。
シオノギの人々の生活が益々豊かになる。

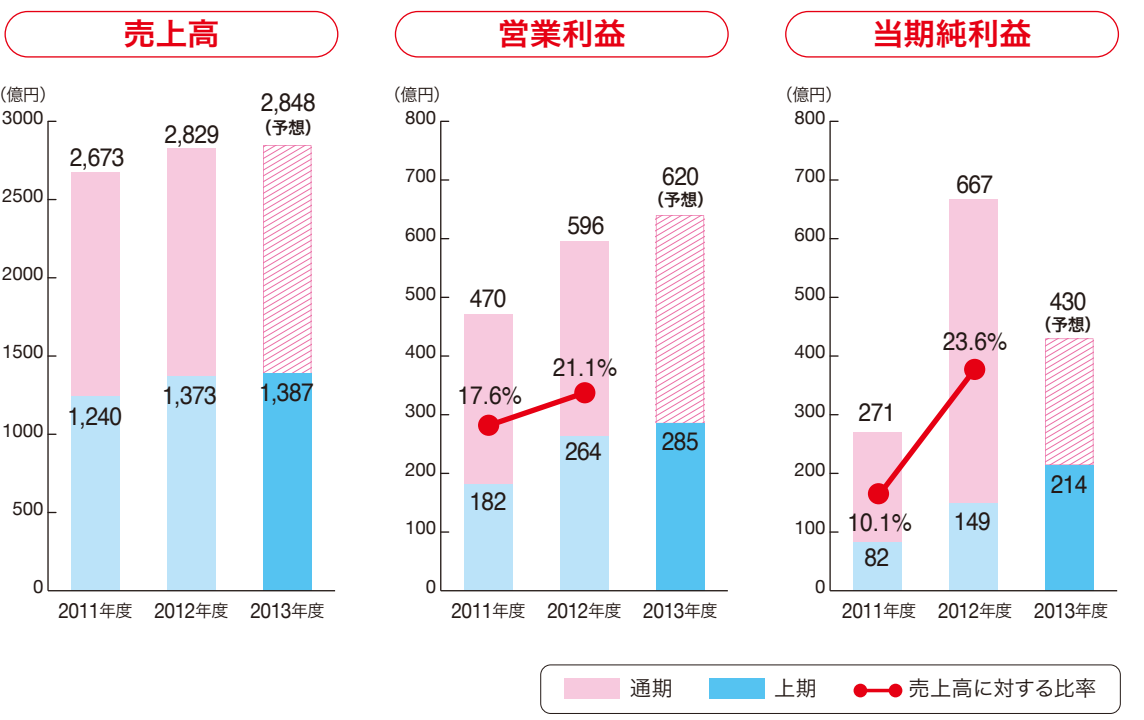


上期の活動報告

業績のポイント

売上高につきましては、国内医療用医薬品において、最重要戦略品目である「 Crestol 」「イルベタン」「サインバルタ」をはじめとする戦略8品目が堅調に推移し、前年同期比1.5%の増加となりました。また、海外におきましては、米国子会社シオノギInc.の業績が安定してきたことを受け、海外・輸出売上高は同3.7%の増加となりました。これらにより、売上高全体では同1.0%の増加となりました。

利益につきましては、製造経費の削減努力などにより、売上総利益は同4.5%の増加となりました。シオノギInc.による閉経後膣萎縮症治療薬「オスフィーナ」の販売関連費用や研究開発費は増加しましたが、国内営業経費削減への取り組みなど、グループ全体のコスト管理に成果が出始めたことにより、営業利益は同7.7%の増加となりました。また、純利益は、前述の利益の増加や固定資産売却に係る特別利益の発生があったことに加え、シオノギInc.株式評価損の損金算入額の変更による税金費用の減少もあり、同44.0%の大幅増益となりました。



2013年度より、訴訟関連費用を営業外費用として計上しております。
このため、2012年度の営業利益については、当該変更を反映した数値を記載しております。

業績予想の修正

通期売上高につきましては、医療用医薬品、製造受託を中心に、直近の見通しから予想を修正しました。

営業利益、経常利益は、ロイヤリティー収入の増額および原価、販管費の節減が進む見通しのため、予想を修正しました。

当期純利益につきましては、上記の利益増の見通しに加え、第1四半期に発生しましたシオノギInc.の株式評価損に関する損金算入額の変更による税金費用の減少があり、通期でも見直しを行いました。

	2013年度当初	2013年度修正	増減額
売上高	2,870	2,848	△22
営業利益	600	620	20
経常利益	590	610	20
当期純利益	370	430	60

トピックス

7月

希少疾病用医薬品 脂肪萎縮症治療薬『メトレレプチン皮下注用11.25mg「シオノギ」』発売

脂肪萎縮症は脂肪組織の消失あるいは減少を原因とする希少難病で、難治性の糖尿病や高中性脂肪血症、脂肪肝を呈することが知られています。希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定された本薬を患者さまにお届けすることで、脂肪萎縮症の治療に貢献します。

9月

高血圧症治療薬イルベタンファミリーの強化「イルトラ配合錠LD/HD」発売

アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）「イルベタン」と、利尿薬「フルイトラン」との配合剤で、ARB/利尿薬配合剤の中では、初のトリクロルメチアジド配合剤です。「イルベタン錠」「アイミクス配合錠」とともにイルベタンファミリーとして、高血圧症の治療に貢献します。

3月

閉経後膣萎縮症治療薬「オスベミフェン」欧州にて承認申請

欧州の患者さまへの貢献も図ってまいります。

6月

中国現地法人「北京塩野義医薬科技有限公司」を開設

中国子会社C&O社との研究開発から販売に至る連携を強化し、中国における開発・販売支援拠点として、中国市場における当社製品の価値最大化に注力してまいります。

6月

シオノギグループ初のグローバル新薬「オスフィーナ」米国にて発売

依然として多くの閉経後膣萎縮症の患者さまが処方薬による治療を受けることができていません。シオノギは、一人でも多くの医療関係者および患者さまに「オスフィーナ」を認知いただき、患者さまのQOL向上にお役立ていただけるよう、今後はDTC※展開も図ってまいります。

※ Direct to consumer：一般消費者に対するプロモーション活動

8月

ViiV社がHIVインテグラーゼ阻害薬「デビケイ（ドルテグラビル）」米国にて発売

8月にFDAより承認され、販売が開始されています。

パイプライン

(2013年10月現在)

■ 自社創製の最優先 3化合物の進捗状況

S-297995
(オピオイド副作用緩和)

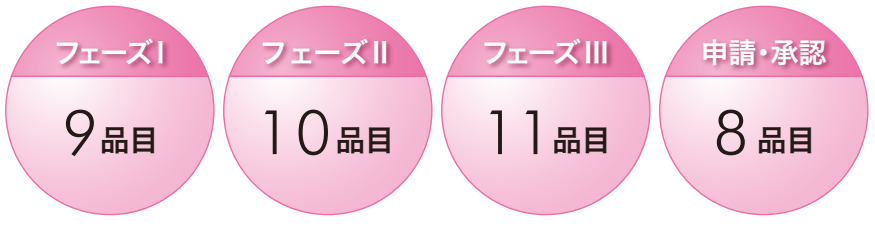
■オピオイドによる慢性便秘を対象にグローバルフェーズⅢ試験を実施中
■日本においても同適応でフェーズⅢ試験に着手

S-555739
(アレルギー性鼻炎)

■市場性の大きい日本を優先し、通年性アレルギー性鼻炎を対象としたフェーズⅢ試験を実施中

S-888711
(血小板減少症)

■国内フェーズⅡb試験の良好な結果を受けて、日本においてフェーズⅢ試験を実施中
■欧米において、開発計画を検討中



お知らせ

■ コーポレートウェブサイトリニューアル

6月にコーポレートウェブサイトのリニューアルいたしました。

本リニューアルにおいては、デザインの刷新とともに、ご利用される皆さまが必要な情報にたどり着きやすいように、使いやすさ、わかりやすさを向上させました。

<http://www.shionogi.co.jp/>



■ 「セデス・ハイ」TV-CMの放映

「セデス・ハイ」のコンセプトに共感いただいたシンガーソングライターのアンジェラ・アキさんに、ご出演いただいております。

このCMの中で流れる「夢の終わり 愛の始まり」は、特別にアンジェラ・アキさんに制作いただいた曲です。

